

長谷川ともかず

市政レポート 2025年4月 vol.7

かわさきほっとらいん

川崎と共ともに生きる



所属委員会: 健康福祉委員会 (副委員長)



3月22日にオープンした市役所広場に、私が提案した第2庁舎の歴史等を記した「レガシー銘板」が設置されました!!

令和7年度 川崎市予算について

- 一般会計当初予算の規模 **8,927億円** (対前年度 +215億円、+2.5%)
・2年連続の増で、過去最大
- 市税収入 **4,048億円** (対前年度 +194億円、+5.0%)
・個人市民税及び固定資産税の増により4年連続の増となり、初めて4千億円を超え、過去最大
・ふるさと納税による寄附受入額は38億円、市税の減収額は149億円
- 減債基金新規借入金 **92億円**
・平成24年度決算からの借入総額は766億円

令和7年第1回定例会が、2月13日から3月19日にかけて開催されました。今号では、3月7日の予算審査特別委員会における私の質問の概要を報告いたします。

長谷川ともかずの質問

ジャンプロープ世界選手権大会に期待!! (市民文化局)

世界選手権は、約35の国と地域から約1,500名の選手が参加し、7月27日から8月3日の間、カルッツかわさきを舞台に、ダブルダッチやシングルロープの技やスピードを競い合います。また、パフォーマンス部門の世界大会である「ダブルダッチコンテストワールド」も同時開催し、音楽に合わせて演技を行うトップレベルのパフォーマンスが繰り広げられます。

【質問】 川崎がブレイキンのみならず、ジャンプロープ等をはじめとした様々なストリートカルチャーの聖地となるよう、世界選手権を契機とした将来の展望とレガシーの継承・発展について、また、若者文化の活動の中心拠点となっている「カワサキ文化会館」が9月に閉館予定であることからその機能を引き継ぐ施設の整備等について質問しました。

【回答】 プレイヤーや運営事業者等と連携しながら、これまでに形成されたコミュニティーやノウハウなどを、今後、建設が予定されている民間の新アリーナに引き継いでいくことにより、持続的な若者文化の創造発信に繋げていけるよう、取組を進めていく。

持続的なインバウンド誘客を! (経済労働局)

【質問】 拡大するインバウンド需要を取り込むため、訪日外国人向けの体験型コンテンツの充実と効果的なプロモーションの取組などについて質問しました。

【回答】 渋谷や新宿などの外国人が多く訪れる地域では、個人ガイドによる体験型ツアーが人気を博していることから、本市でもインバウンドに関心のある市民が、市内の様々なコンテンツを活用して体験型ツアーを造成することへの支援や、環境づくり等を行っていく。飲食店への誘導や体験型コンテンツの造成など様々な取組を一体的に推進することで、インバウンド需要を取り込み、地域経済の活性化につなげていく。

【要望】 体験型ツアーの市民の参画について、地域にはインバウンドを含めた観光振興に精通し、積極的な団体等も多いので、そういった団体等と意見交換を行いながら、官民が連携して取組を進めるよう求めました。



「みんなの川崎祭」「川崎夜市」今年も開催!!

(まちづくり局、経済労働局)

市制100周年のレガシーを継承する「みんなの川崎祭」は、今年も市役所通りの両側6車線を交通規制した昨年と同程度の規模を予定しており、また、今年で4年目の開催となる「川崎夜市」は、実施エリアの拡大や、他のイベント等と連携した効果的な広報など、より多くの方に参加いただけるよう、川崎夜市実行委員会の皆様と検討しているとのことです。

「市民祭り」を含めて、それぞれ日程や詳細については、まだこれからとなりますので、楽しみにお待ちください!

★「かわさきフェス広場」を楽しもう★

(まちづくり局)

川崎駅東口駅前広場ルフロン前において、週末を中心に行われているイベント「かわさきフェス広場」では、事業者が主体となり飲食、物販、パフォーマンス、ワークショップ等の様々な催しが開催されています。

【質問】 イベントの周知はホームページやSNSにより発信されていますが、「かわさきフェス広場」の名称を含めて、まだまだ認知度が低いように見受けられます。デジタルサイネージの活用など周知広報の更なる取組や、今後の展開等について質問しました。

【回答】 川崎駅周辺のデジタルサイネージを活用した情報発信など、更なる認知度向上につなげていく。地元等との関わりの充実や、市の様々な事業との一層の連携、イベントのバリエーションの増加などによる新たな取組が期待できるとともに、更なる街のにぎわい・交流の創出等につながるものと考えている。

市立学校及び公立保育所すべてに防犯カメラを!



★今回の質問により、全校設置に向けて前進しました!!

【質問】 市立学校の防犯カメラの設置状況について、小学校(114校)及び特別支援学校(4校)は既にすべて設置が完了しており、中学校(52校)は、令和7年度に9校、令和8年度に19校の設置工事をもって、すべて完了する予定です。一方、高等学校(5校)のうち高津高校及び公立保育所21園のうち7園が未設置であることが明らかとなり、全校への設置に向けて今後の対応について質問しました。

【回答】 子どもたちのより一層の安全確保や保護者の不安解消を図ることは重要であり、不審者等に対する抑止効果などの観点からも、防犯カメラは有効であると認識しているため、設置に向けて検討していく。

児童生徒用の備蓄物資も学びに活用!(教育委員会)

震度5強以上の地震が発生した場合に、市立小・中・高等学校及び特別支援学校において必要な物資として、アルファ化米、栄養補助食品(カロリーメイト)、飲料水など災害当日を含めて2日分の食料を、全児童生徒の3割程度と想定し備蓄しています。

【質問】 それぞれ賞味期限があるため、アルファ化米は5年ごと、カロリーメイトは3年ごと、飲料水は5年ごとの買い替えにより生じた備蓄食料の活用方法等について質問しました。

【回答】 学校では防災教育の教材として使用し、また、家庭に持ち帰って防災について家族と一緒に考える契機とするなど、有効に活用している。

使いやすい「備蓄倉庫」の整備へ!!

(危機管理本部)



【質問】 市立学校の児童生徒分36万枚を含めて、新たに約95万枚の携帯トイレが避難所や市立学校などにおいて、2日間分が備蓄されることを踏まえ「川崎市備蓄計画」の改訂の内容等について質問しました。

【回答】 現在、生活環境の改善に資する必要な物資について見直しを進めており、今後、改訂に向けて携帯トイレなど衛生関連用品等の品目、数量及び買い替えについて関係局と検討を行っていく。

【要望】 私は地元町内会の防災部長を任されていることなどから、市立学校等に併設されている備蓄倉庫の中には、様々な物資の段ボールが積み上がり、雑然としている倉庫が多いと見聞きしています。今後は避難所運営会議とも連携しながら、各学校の状況に応じた収納能力及び使い勝手の向上が図られるよう要望しました。



プロフィール 元・川崎市職員

「故・飯塚まさよし」市議会議員の後継者



- 1972(昭和47)年生まれ、52歳
- 川崎区大島上町在住
- 妻、長男、長女、次女の5人家族
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 民間企業で15年間、土木・造園工事の現場監督(サラリーマン)
- 川崎市役所で12年5ヶ月間、建設・道路行政に従事(行政マン)

- 2022年8月、川崎市役所を退職し政治家の道を目指す
- 2023年4月、市議会議員選挙(川崎区)初当選
- 田島小学校 元PTA会長(9年間)
- 渡田中学校 元PTA会長(3年間)
- 市立川崎高校 元PTA会長(3年間)
- 川崎市高等学校区PTA協議会 元会長
- 渡田子ども文化センター運営協議会 会長
- 川崎野球協会 副会長・大師支部 支部長
- 全川崎選抜野球大会実行委員会 委員長
- 川崎区少年野球連盟 後援会 副会長
- 川崎市相撲連盟 副会長

資格

- 1級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 測量士、ほか

趣味

- ロックンロール
- ゴルフ
- ガーデニング

長谷川ともかず事務所

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-23-4 サイトーハイツ 102
TEL : 044-280-8824 FAX : 044-280-8834
MAIL : hasegawa-tom@an.wakwak.com



X(旧Twitter)



Facebook



LINE